



2024年11月1日 No. 195 (毎月1日発行)

【ハイテク・省エネ研究開発、エンジェル投資家に係る租税優遇措置を拡大することに】

台湾經濟部は10月4日に、産業創新条例に関する改正案を公表しました。主な内容は以下の通りです：

- ハイテク・省エネ研究開発費に係る法人税税額控除 (第10条の1)
 - 適用産業の新規追加：従来のスマートマシン、5G、情報セキュリティのほか、機械学習、自然言語処理をはじめとするAIサービス・商品と、温室効果ガス排出削減に効果のある省エネルギー技術に関連する研究開発費等を、新たに税額控除の対象に加える。
 - 適用する金額の拡大：適用する研究開発費の上限を、10億台湾ドルから18億台湾ドルに増額。
 - 適用する期間の延長：当租税優遇の適用期限について、従来の2024年末までであったが、2029年12月31日に延長する。
- 台湾法人の海外投資に係る事前許可と罰則 (第22条と第67条の3)
 - 事前許可制の修正：従来の条文では、海外投資額が15億台湾ドル以下であれば事前許可を得る必要はないが、この規定を削除し、特定の国家・地域や産業・技術に関連し、または投資額がある一定程度を超える場合に、事前に許可が必要となるよう修正
 - 違反行為の罰則：事前許可が必要な状況で許可を取得しなかった場合、主務官庁は10万台湾ドル以上100万台湾ドル以下の過料を科し、その海外投資を期間内に停止・撤廃させることができる。再度違反した場合、100万台湾ドル以上1,000万台湾ドル以下の過料を科す。
- エンジェル投資家に係る所得税控除額の新規整備 (第23条の2)：本来のエンジェル投資家に係る所得税控除は、会社設立後2年以内のベンチャー企業に限られるが、今回の改正案において、設立後2年以上5年未満のベンチャー企業に50万台湾ドル以上投資し、そのベンチャー企業の株式を保有して3年後の当年度に、投資額の半分(300万台湾ドルの限度で)をエンジェル投資家の総合所得総額から控除することができる。

【法人向けの電力料金プラン、平均値上げ幅12.5%】

台湾電力株式会社(台灣電力股份有限公司)は10月16日に電気料金の値上げを実施しました。今回の改定において、産業用の平均引き上げ幅は12.5%となっている一方で、家庭と商店を含む民生用の電気料金は当分据え置かれることになりました。

【営業税納税義務の免除に適する基準期間における課税売上高、2025年値上】

台湾財政部は10月23日に、営業税納税義務の免除に適する課税売上高に関する改正案を公表しました。主な内容は以下の通りです：



- 売買・製造業者：商品売買・製造、出版、新聞、エンターテインメント、運輸、撮影と飲食店などに適用する課税売上高：8万台湾ドル→10万台湾ドル
- 労務提供者者：広告、修理、内装工事、旅館、倉庫、賃貸借、などに適用する課税売上高：4万台湾ドル→5万台湾ドル
- 適用開始日：2025年1月1日

【炭素費の徴収、2025年始動】

台湾環境部は10月23日に、2025年1月1日をもって炭素費を徴収しはじめることを公表しました。徴収率は以下の通り、三種類に分けられます。

1. 一般徴収率：二酸化炭素（CO₂）排出量を2.5トンを控除し、残る排出量1トンあたり300台湾ドルとなります。
2. 軽減徴収率 A：CO₂の削減に係る計画を提出し、2030年に環境部の指定するCO₂の削減率、2021年の排出量に比べ42%以上である場合に、同様に2.5トン控除し（高い炭素リーケージ産業は控除量を適用しなく、他の調整方法を適用します。）、残る排出量1トンあたり50台湾ドルとなります。
3. 軽減徴収率 B：CO₂の削減に係る計画を提出し、2030年に環境部の指定するCO₂の削減率、2018年～2022年の平均排出量に比べ23%以上である場合に、2.5トンの控除量、または他の調整を適用した後、残る二酸化炭素排出量1トンあたり50台湾ドルとなります。

フェアコンサルティング台湾

（正緯管理顧問股份有限公司）

台北市松山區敦化北路167號11樓C室 宏國大樓

電話：+886-2-2717-0318

担当：坂下（SAKASHITA）

yu.sakashita@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。